

ノーモアヒロシマ・ナガサキ ノーモアヒバクシャ

核兵器のない平和で公正な未来への扉をひらこう

みなさん、こんにちは。私たちは日本原水協（原水爆禁止日本協議会）です。

広島、長崎に原爆が投下され、人類がはじめて核攻撃の被害を体験してから66年目の夏を迎えます。ことし8月、被爆地ヒロシマ、ナガサキで原水爆禁止世界大会が開かれます。1955年の第1回大会から57回目の大会です。

日本の原水爆禁止運動は、核戦争阻止、核兵器全面禁止、廃絶、被爆者援護連帯の目標をかかげ続けてきました。目標は変わらなくても、情勢は大きく変わりました。

核兵器のない世界が見えている！

去年の5月、世界189カ国が参加した核不拡散条約（NPT）再検討会議は、核兵器廃絶の新たなページの幕開けとなりました。それは、この会議で「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことが国際政治の目標となったからです。潘基文国連事務総長は「私たちは必ず核兵器をなくす」と断言しています。

核兵器のない世界が実現しないのは、あれこれの「ならずもの」のせいでも、「テロリスト」のせいでもありません。アメリカ、ロシアなど核兵器を持つ国のリーダーがなすべき決断をせず、とるべき行動をとらないからです。最近アメリカがおこなった新しい形の核実験は、プラハでの「核兵器のない世界を追求する」とのオバマ大統領自身の公約にも世界の流れにも逆行するものです。

大震災、原発事故の被災者のみなさんと 連帯して

「核兵器のない世界」を現実のものにするためには、さらに大きな世論と行動が求められています。私たちは、「核兵器全面禁止のアピール」署名を今年2月によびかけました。核兵器をなくすには、被爆国日本がイニシアチブをとらなければなりません。世界大会に署名を積み上げ、世界中に核兵器全面禁止の声を発信しましょう。

世界大会は、東日本大震災と福島第1原発事故の被災者のみなさんと連帯して、世界の資源を戦争と核兵器、年間130兆円にもものぼる膨大な軍事費から、平和と命と暮らし、飢餓や貧困、災害などの克服などのために転換するようよびかけます。

国連、各国政府、自治体の代表や、世界と日本の草の根運動の代表が世界大会に集まります。核兵器のない平和で公正な未来への扉を開くために、署名と世界大会の代表派遣募金にご協力ください。

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>

